

研究課題名	本邦心大血管リハビリテーションの問題点の抽出と対策の検討
当センターの研究責任者	リハビリテーション科 本多祐
研究目的	急性心筋梗塞では早期治療として再灌流療法の有効性は言われていますが、再灌流療法の治療進歩により入院期間は大幅に短縮されています。その中で脳卒中と循環器病克服第二次五カ年計画が発表され急性期からのリハビリテーションの重要性が強調されています。現在の状況での急性期心筋梗塞患者における心臓リハビリの予後改善効果を再評価し問題点を抽出し、急性心筋梗塞患者の予後改善効果を確認すると共に、保険診療による妥当性などに関する問題点（費用対効果）を抽出し、それらを検証することを目的とした後ろ向き研究です。
利用する情報	<p>■対象 2014年1月1日～12月31日までに日本循環器学会が毎年循環器専門研修施設・研修関連施設を対象に実施している「循環器疾患診療実態調査（JROAD）」で収集されたJROAD-DPCに登録され急性心筋梗塞で入院した患者</p> <p>■利用情報の内容 診療録、検査データ、画像データ、新たに取得する予後調査情報</p> <p>■利用情報の該当期間</p> <p>新たな情報を取得する場合 研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2025年3月31日</p> <p>既存試料・情報を利用する場合</p> <p>後ろ向き期間：西暦 2014年01月01日 ～ 西暦 2019年12月31日</p> <p>前向き期間：研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2025年3月31日</p>
研究期間	2028年3月31日まで

利用情報の他機関への提供の有無 (有の場合はその名称)	有 福岡大学、琉球大学
個人情報の取り扱い	氏名や住所等の個人を特定できる内容は削除
企業等からの資金提供の有無 (有の場合はその名称)	無
お問い合わせ先	はりま姫路総合医療センター 総務部 診療サポート課 電話番号：079-289-5080
備考	